

ご利用者様 各位

令和8年3月13日
東京都 東部公園緑地事務所
公益財団法人東京都公園協会

砧公園におけるサクラおよびヒマラヤスギの倒木事故について

日頃より都立砧公園の管理運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。

令和8年3月7日にファミリーパーク内のサクラが1本倒木し、来園者1名が負傷されました。

3月8日には駐車場脇のヒマラヤスギが1本倒木し、駐車中の車両が2台損傷となりました。

被害にあわれた方々に、心よりお詫びとお見舞いを申し上げますとともに、このような事故が起きたことについて重ねてお詫び申し上げます。

これまでの取組と事故後の対応は以下のとおりです。

○樹木点検について

公園内の樹木に対しては、日常巡回の中で目視による確認（キノコや枯れ枝の有無等）を実施しております。また、専門の研修を受けた職員（樹木点検員）により、年1回以上（異常を発見した樹木は年4回程度）樹木点検を実施しております。その後、異常の進行が見られた樹木は、樹木医による樹木診断が行われ、適切に樹木管理（剪定や伐採等の措置）を行っております。

○倒木の原因

・ファミリーパークのサクラ

倒木したサクラは、専門の研修を受けた職員（樹木点検員）による樹木点検での異常は見られませんでした。倒木後、樹木医が診断したところ、腐朽菌（カビのようなもの）により支持する根が腐朽して強度が失われたことなどや、降雨後の地盤の軟化により、根返りに至ったと推測されます。直近の点検では、幹の腐朽や打音の異常がなかったため、倒木の予期が非常に困難でした。

・駐車場横のヒマラヤスギ

倒木したヒマラヤスギは、専門の研修を受けた職員（樹木点検員）による樹木点検での異常は見られませんでした。倒木後、樹木医が診断したところ、根の部分の土被りが厚く、根に十分な空気が行き届かない状態が続いたことから衰退が進み、樹体を支えている根が腐朽して強度が失われることで、根返りに至ったと推測されます。直近の点検では、幹の腐朽や打音の異常がなかったため、倒木の予期が非常に困難でした。

○事故後の対応について

倒木した周辺のサクラおよびヒマラヤスギを対象に、樹木医による診断を行いました。診断の結果に基づき、早期の安全確保に向け剪定、伐採を行う予定です。

現在駐車場は全面閉鎖しておりますが、剪定等により安全を確保し開放する予定です。

これからも皆様が安全、安心にご利用いただけるよう管理運営に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。